

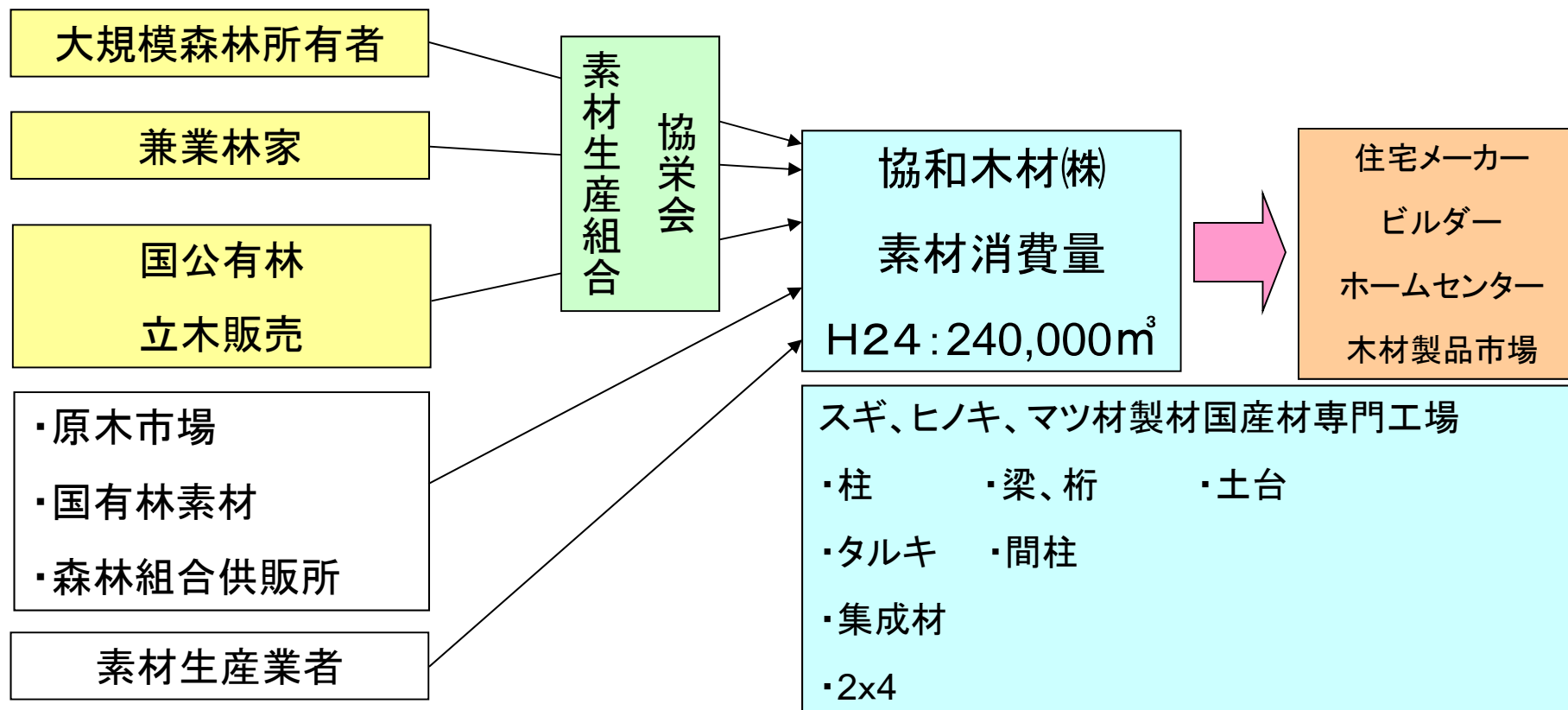
山村を豊かにする林業 国際競争力のある木材産業

～協和木材の取り組み～

協和木材株式会社 代表取締役 佐川 広興

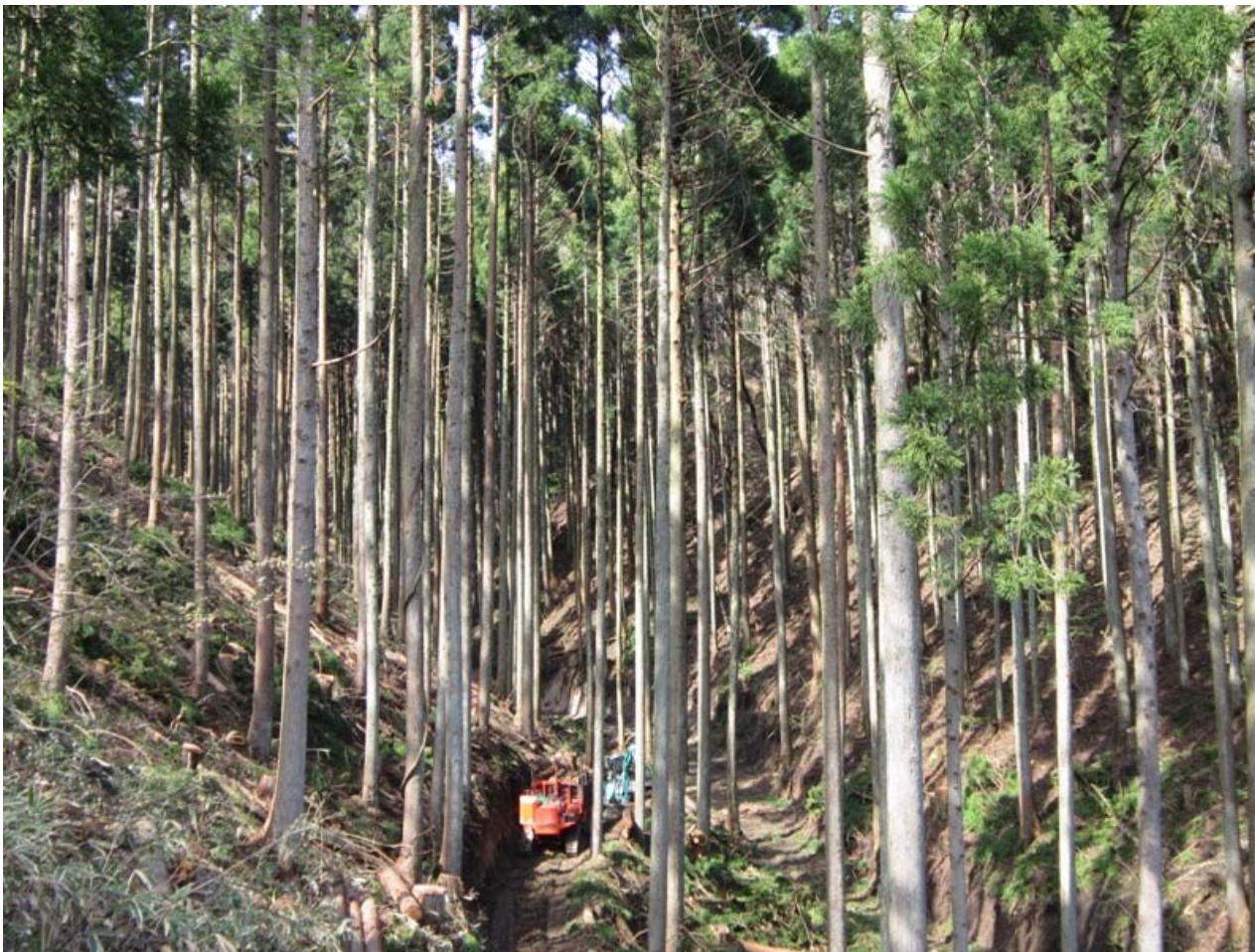
協和木材株式会社の事業内容

～立木購入し、協栄会による素材生産を主とした素材原木の安定供給システムを構築～



林業から木製品販売までの一貫体制

1. 原木の安定供給システムの構築



■ 立木購入、素材生産

- (1) 林家への立木購入の営業
- (2) 境界の確認
- (3) 立木の材積調査
- (4) 作業道の設計
- (5) 立木価格の見積書作成
- (6) 価格交渉
- (7) 契約
- (8) 素材生産



- 手間が多く山林所有者に十分還元できない
- 境界確認等の手間を軽減する必要(境界・所有者がわからない森林の増加)
- 伐採・搬出作業の効率化を図る必要

立木の価格はスギ皆伐山林
1ha.50年育成で100万円程

立木代金に比べあまりに多い手間

伐採・搬出作業の効率化

- 山をまとめること
- 路網を入れること
- 効率的な作業システムを導入すること



伐採



集材



造材



地拵え無し再植林



トラック輸送



林地残材の回収(バイオマス利用)

2. 製材加工

- 国産材の加工は山村で ●

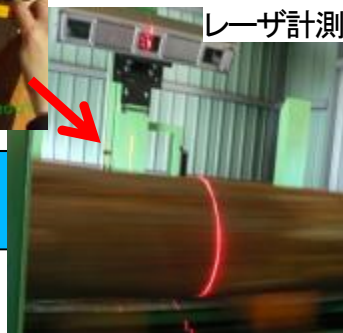


生産性の向上に向けた取組

- 工場の24時間稼働
- 手計測からレーザ計測



① 荷受・選木



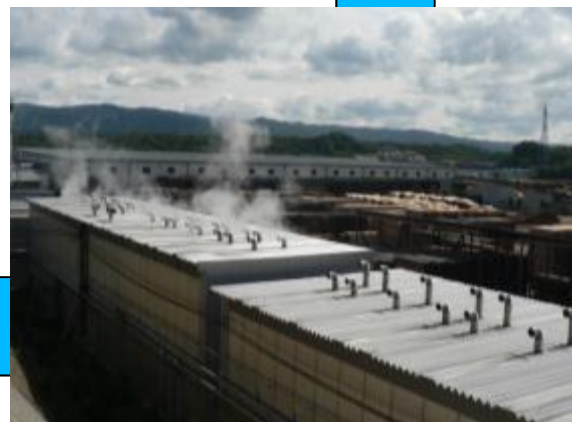
② 丸太材積の計測



③ 製材



④ 乾燥(木屑だきボイラー)



■ 徹底した品質管理への取組



無垢材仕上げ



強度測定



強度等級格付け

■ 木材製品の販売

＜主製品＞

無垢の建築材

集成材

W.ALCパネル

2x4建築材



<副製品>



パルプ・ボード向けチップ



オガ・バーク



バイオマス燃料向けチップ

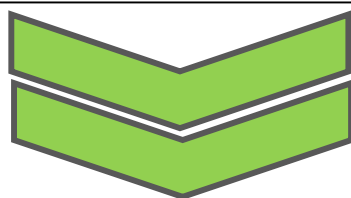
日本の森林を整備し、国際競争に打ち勝つために

～林業から木製品販売、需要拡大までの一貫した施策の展開～

解決すべき課題と対策

【川上】

- 所有者や境界が不明な森林の解消
 - 地籍調査、境界明確化、所有者情報の整備等の推進
- 木材価格が低下する中、林家への還元の拡大（低コスト化）
 - 作業道など路網整備の推進
 - 集約化に向けた合意形成の促進
 - 効率的な機械・作業システム導入への支援



原木の安定供給

【川下】

- 効率的な加工・流通体制の整備
 - 更なる効率化、品質の確保に向けた取組の推進
- 国産材需要の喚起
 - 木材利用ポイントの継続、副製品（バイオマス）を含めた多様な需要拡大¹¹

おわりに

・日本への木材輸出国（中欧
北欧 北米）の林業、製材業と
競争できる林業・製材業に



・持続可能な林業経営により
農山村の復活と環境への貢献を

